

< 式辞 >

長かった冬もようやく終わりに近づき、この美濃の地にも春の息吹があちらこちらで感じられる今日この頃、本日ここにめでたく卒業式を迎えられました卒業生の皆様に、心からお祝い申し上げます。

本日はご多用中にもかかわらず、多数の保護者の皆様のご臨席を賜り、令和元年度第七三回卒業証書授与式を挙げていきますことを心より厚く御礼申し上げます。

ただ今、百八十一名の皆さんの代表生徒に卒業証書を授与いたしました。本来であれば、卒業生の皆さん、一人一人にお渡しすべきではございますが、感染防止対策として式の時間短縮をするため、このような代表授与という形になりましたこと、まずもってお詫び申し上げます。しかし、皆さんは、確かに中学校の全課程を修了し、九年間の義務教育を終えたことをここに宣言させていただきます。

ぜひとも、自分自身の成長に、自信と誇りをもつとともに、目の前に広がる人生に大いなる希望を描いてください。そして、一方で、共に学び支えあった友がいて、さらに皆さんを守り育ててくれた保護者の皆さんをはじめ、教え導いていただいた先生方、さらにはお世話になった多くの方々の支えがあったことを心に留めてください。多くの皆様への感謝の気持ちを忘れずに、これからの人生を力強く歩んでほしいと思います。

卒業する皆さんは、北方中学校の最高学年として、この一年間、生徒会スローガン「一丸」を合言葉に、様々な活動を前へ押し進めてきました。

修学旅行では、一日目の夕食の時間に間に合わないという課題が明らかになった時、皆さんはどうしたらよいかをリーダーが中心となって話し合い、二日目以降、見事に時間を守り切ることができました。この事実の裏側にあった人たちの努力とその想いを考えると、感動せざるを得ませんでした。

体育祭では、各団の団長を中心として、スローガンの実現に向け、競技や応援を必死になって頑張り、「一丸」となる姿に心が震えました。

合唱集会は、今年度より本校の体育館にて全校合唱集会を実施することになりました。「合唱は、どこでやるかではなく、どんな想いでやるかが大切だ。」ということを教えてくれたのは皆さんの合唱に取り組む姿でした。

ここである一人の生徒のお話を紹介します。その生徒は、一年生の時の自分自身の姿をみつめ、二年生になった時、学級伴奏や学年指揮者になるために、「自分を変えたい」と強く願い、自分の身なりから変えていこうという目標をもちました。最初は慣れなくて嫌な気持ちもあったけど、少しずつ、努力をしていったそうです。そのうち、学習面も少しずつ変わっていったそうです。取り組んでいくとき、「嫌だなあ」と思う気持ちもあったけど、応援してくれる友達の存在が、心の支えとなっていたそうです。そのおかげで、今日まで頑張れたそうです。私はその話を聞いて、とても優しくあったかい学年だなあと、しみじみ感じました。

このように、優しくあったかい学年の仲間にも包まれながら、この生徒は、「目標」「努力」「発見」の営みを少しずつ実現できたのだと思います。私は、「常」という言葉と、「目標」「努力」「発見」の営みを大切にほしいと、四月にお願いをしました。この生徒のように、その言葉を大切にしながら過ごしてくれた生徒がいたこと、その生徒を支えてくれたあったかい仲間がいたこと、そのきっかけとなったのが合唱であったこと、それらすべてが皆さんの残した一番の宝物です。このように、皆さんの残した宝物の一つである合唱が、本日聴けないこと、在校生の皆さんに聴かせてあげられないことが、私としては一番心残りなことです。

そして、もう一人の生徒のお話をします。その生徒は、本日朝早く登校し、いつも通り、学校付近の朝清掃をしました。私は、その生徒を見て、本物の「常」の姿だと感じました。

皆さんが合唱や朝清掃に注いだ魂を在校生に伝えていくのは、我々教職員の使命だと考えております。さて、この四月からは、自分が選んだそれぞれ新しい環境での生活が始まります。

今、紹介したように、皆さんは北方中学校で仲間のことを思いやり、共に多くのことを学び合い、楽しかったことやつらかったことも含め、様々なことを経験し、たくましく成長しました。北方中学校で過ごした三年間に培った宝物を、皆さん、振り返ってみてください。自分自身が「発見」した自信と誇りを自覚するとともに、自分の弱さと向き合い、逃げることなく、常に挑戦し続けるためにも、新たな「目標」をたて、「努力」する一歩を踏み出してください。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。中学校三年間の課程を終えられ、義務教育九年間を修了されました。さぞや感慨もひとしおだご拝察いたします。

皆様の大切なお子様を、三年間お預かりしてまいりました。ご期待に添えなかった点多々あったと思いますが、お子様たちはたくましく成長し、今日の日を迎えることができました。これもひとえに保護者の皆様方のご理解とご協力があったおかげと深く感謝しております。今後とも、生徒が楽しいと感じる学校づくりをめざし、教職員一同努力して参りますので、これからも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

結びとなりますが、卒業生のみなさん。自分を今まで育ててくださった家族のこと、母校となるこの北方中学校、生まれ育った地域である北方のことを愛し続け、たくましく成長してくれることを願うとともに、皆さん一人ひとりの健康と幸せをお祈りして、式辞といたします。

令和二年三月六日

北方町立北方中学校 校長 宮部 寿